

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8 (第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和3年6月30日

(宛先) 松本市長 臥雲 義尚 様

提出者

住所 長野県松本市平田東2-1-1

氏名 ハシバテクノス株式会社

代表取締役 西沢 正之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0263-86-2822

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

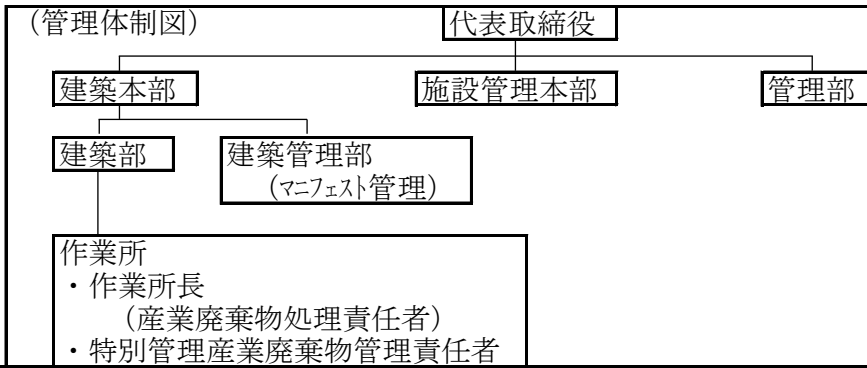
事業場の名称	ハシバテクノス株式会社
事業場の所在地	長野県松本市平田東2-1-1
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 386,600万円
③ 従業員数	102名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	がれき類 → 委託処理 → 再生砕石として再資源化 ガラス・陶磁器くず → 委託処理 → 再生ボードとして再資源化又は埋立処分 廃プラスチック、紙くず、繊維くず → 委託処理 → 固形燃料として再資源化又は埋立処分 金属くず → 委託処理 → 鋼材原料として再資源化 木くず → 委託処理 → 燃料チップとして再資源化又は埋立処分 建設混合廃棄物 → 委託処理 → 原料として再資源化又は埋立処分 石綿含有産業廃棄物 → 委託処理 → 埋立処分 汚泥 → 委託処理 → 改良土、堆肥化として再資源化 廃油 → 委託処理 → 燃料として再資源化

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (令和 2 年度) 実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)
排出量	36.85t	0.45t	170.77t	170.97t	219.20t	1,386.61t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管)	紙くず	木くず	繊維くず		
排出量	128.54t	18.24t	200.97t	0.36t		
(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物の発生抑制及び再利用に考慮した工法の検討・採用。 ・施工材料の発注及び搬入数量を適正に管理する。 ・梱包材の簡素化						
【目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)
排出量	30.00t		150.00t	150.00t	190.00t	1,250.00t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管)	紙くず	木くず	繊維くず		
排出量	100.00t	15.00t	180.00t	0.50t		
(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物の発生抑制及び再利用に考慮した工法の検討・採用。 ・施工材料の発注及び搬入数量の適正化を図る。 ・簡易包装を呼びかけ梱包材の簡素化をすすめる。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック、木くず、紙くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類 ・産業廃棄物を種類ごとに表示し、作業所内での分別を推進することにより、混合廃棄物となる割合の逡減を図る。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物について分別を進める。 ・協力業者へも分別の協力を呼びかける。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管	紙くず	木くず	繊維くず		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 該当なし						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管	紙くず	木くず	繊維くず		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 実施の予定なし						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管	紙くず	木くず	繊維くず		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組) 該当なし							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管	紙くず	木くず	繊維くず		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組) 実施の予定なし							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	紙くず	木くず	繊維くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組) 該当なし								
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	紙くず	木くず	繊維くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組) 実施の予定なし								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く(石膏ボード等)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	
	全処理委託量	36.85t	0.45t	170.77t	170.97t	219.20t	1,386.61t	
	優良認定処理業者への処理委託量		0.45t	35.35t	134.81t	188.90t	1,113.26t	
	再生利用業者への処理委託量	36.85t		135.42t	170.97t	120.40t	1,378.18t	
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	紙くず	木くず	繊維くず			
	全処理委託量	128.54t	18.24t	200.97t	0.36t			
	優良認定処理業者への処理委託量	77.12t	2.04t	96.36t	0.36t			
	再生利用業者への処理委託量	27.61t	16.20t	173.25t				
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> 再生利用業者への委託を優先し、自らも再生資材を使用する工法等、積極的に採用する。 産業廃棄物のリサイクル率は88%。 電子マニフェストの運用。 							

【目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)
全処理委託量	30.00t		150.00t	150.00t	190.00t	1,250.00t
優良認定処理業者への処理委託量			75.00t	130.00t	190.00t	1,000.00t
再生利用業者への処理委託量	30.00t		130.00t	150.00t	170.00t	1,250.00t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	紙くず	木くず	繊維くず		
全処理委託量	100.00t	15.00t	180.00t	0.50t		
優良認定処理業者への処理委託量	60.00t	5.00t	100.00t	0.50t		
再生利用業者への処理委託量	30.00t	8.00t	150.00t	0.50t		
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者、再生利用業者の利用促進。 ・再生資材を使用する等、環境に配慮した工法等積極的な採用促進。 ・産業廃棄物のリサイクル率は85%以上を目標とする。 ・電子Manifestの更なる利用率向上を目指す。						
②計画						
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が13以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類 (実績値・計画値)											合 計	
		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃プラスチック)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	紙くず	木くず	繊維くず			
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	36.85t	0.45t	170.77t	170.97t	219.20t	1,386.61t	128.54t	18.24t	200.97t	0.36t			2,332.96t
	本年度排出量(計画)	30.00t		150.00t	150.00t	190.00t	1,250.00t	100.00t	15.00t	180.00t	0.50t			2,065.50t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	36.85t	0.45t	170.77t	170.97t	219.20t	1,386.61t	128.54t	18.24t	200.97t	0.36t		2,332.96t
		本年度計画(目標)	30.00t		150.00t	150.00t	190.00t	1,250.00t	100.00t	15.00t	180.00t	0.50t		2,065.50t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績		0.45t	35.35t	134.81t	188.90t	1,113.26t	77.12t	2.04t	96.36t	0.36t		1,648.65t
		本年度計画(目標)			75.00t	130.00t	190.00t	1,000.00t	60.00t	5.00t	100.00t	0.50t		1,560.50t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	36.85t		135.42t	170.97t	120.40t	1,378.18t	27.61t	16.20t	173.25t			2,058.88t
		本年度計画(目標)	30.00t		130.00t	150.00t	170.00t	1,250.00t	30.00t	8.00t	150.00t	0.50t		1,918.50t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。